

どっこい生きてます!



農業隊のリードで
付き合いのある地元保育園の園児と保護者らを招き
サツマイモの手掘り体験イベント

(4ページに記事)

2020
11

断薬に苦しむ受刑者らを思い 手紙で人生の再出発を促す



新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、ヨーロッパでは第2・第3のパンデミックの波が猛威を振るう深刻な状況が続いています。世界中がコロナ対策で疲弊する中、まだ切迫した感染拡大にはなっていない日本でも徐々に感染者数が増加の一途を辿り、感染の再拡大が懸念される状態です。最新ニュースが伝えるところによると、米製薬大手企業と独バイオ医薬ベンチャー企業が協同で開発したワクチンが、最終段階の臨床試験で9割以上の予防効果を確認できたと発表し、大きな話題を呼んでいるようです。安全性が確認されれば接種が始まると報じていますが、日本でのワクチン接種が実現するまで、まだまだ予断は許せません。

コロナ禍に翻弄されて見通しの立たない状況の中、潮騒ジョブトレーニングセンター(JTC)が発行する潮騒通信「どっこい生きてます!」も4月号から休刊を余儀なくされ、毎月楽しみにお待ちいただいている読者の皆様には、大変ご心配をお掛けしておりましたこと、そして無断で休刊に至ったことへのお詫びを申し上げなければなりません。更に、巻頭言として続けてきたこの欄も来月号から休載させていただくことをお許しいただかねばなりません。「どっこい生きてます!」では、潮騒JTCに対する私の考えや運営方針などを書いてまいりましたが、入寮者が250人以上の大所帯になってしまった結果、忙しさに忙殺されて思うように筆を持つ時間的な余裕がなくなりました。誠に申し訳ありません。

さて、新型コロナの感染拡大におののきながら自粛生活が続いた春先から猛暑の夏を超え、今や晩秋も過ぎようとする季節を迎えてしまいましたが、遠方から届く一通の手紙は、一服の清涼感を与えてくれます。今月は刑務所などの刑事施設に収容されている受刑者から私の元へ送られてくる手紙について書いてみます。ご存じのように、この冊子には「受刑者の手紙」という欄が設けられています。本来、手紙は個人宛の書簡でありプライバシーが尊重されるべき私信ですが、受刑者の手紙の中には当事者の本音が書かれているものが多くあります。本音を吐き出し自分に正直になることは、依存症の回復を促すプロセスの一つでもありますので、潮騒JTCの仲間たちにも読んでほしいと考えて掲載するようになりました。

全国に点在する刑務所などから届く手紙は、毎月平均100通を超えており、そのほとんどが違法薬物の所持や使用などで刑に服している受刑者たちです。彼らと書簡を交わすようになったのは、薬物の乱用防止を啓発する潮騒プログラムの一環として始めた10年ほど前です。当初は5～6人前後の人たちとの文通から始まったと記憶していますが、今もその数は増え続けています。寄せられる手紙には、受刑者たちの生活や出来事などがつづられ、真面目に刑と向き合っている姿が想像できます。私が返事にしたためるのは、薬漬けの人生を送ってきた受刑者たちに「薬物は止められる」というメッセージです。文末には必ず「薬物を止めた新しい生き方の道を一緒に歩みませんか?」と書き添えています。ハイパーパワーの偉大な力を借り、彼らに取りつく薬物の誘惑から逃れる術を伝える努力を続けていくことが、私に与えられた役目です。薬物を止めようと決意したときに潮騒JTCがあることを思い出し、回復を目指す仲間たちと一緒に薬物に溺れない生活を取り戻してほしい。それが彼らにとっては「やり直しの人生」になる筈です。依存症は完治しない病と言われますが、「止め続けることは出来る」ということを強く訴え続けていきます。

巻頭言は一旦休載致しますが、今後も機会あるごとに書くつもりでありますので、ご期待ください。

(理事長・センター長 栗原 豊)



合同句集「潮騒」を出版 人生を見つめ直して詠んだ十七文字

潮騒JTC理事長の栗原豊センター長と施設で開かれている俳句会に集う仲間たちが詠んできた作品をまとめた合同句集「潮騒」が、竹頭社から出版されました。句集を刊行したセンター長は「77歳にして初の句集。より一層学んでいきたい」と喜びを嘯み締めっていました。

句集は約540ページで上製本(ハードカバー)の四六判。前文には、日本ダルク代表の近藤恒夫氏、アパリクリニック理事の竹内達夫氏のほか、潮騒JTCで開かれている俳句会「潮騒俳壇」の講師を務めている神栖市の俳人・桐本石見氏の3人が序文を寄せています。句集には、句会の主宰者でもあるセンター長と句会で学ぶ仲間たち約20人の作品約1000句を抜粋して掲載。2009年～20年までの11年間に詠んだ俳句を年ごとに分けて載せています。俳句には、桐本氏が作品ごとに丁寧な句評を添えており、俳句の奥に広がる情景や作者の思いとともに季語の由来なども解説しています。桐本氏は「初心者向けの入門書としての活用も考慮した評を心掛けました」と話しています。句集刊行のきっかけは「これまでの句会の作品を句集にまとめた」とのセンター長の思いでした。桐本氏に相談を持ち掛けたところ、「仲間たちの句も載せてはいかがですか」とのアドバイスをいただき、「一緒に学ぶ仲間たちの作句意欲も高まり励みにもなる」と考えて、句会の成果を合同句集の形として残すことになりました。

センター長が俳句に出会ったのは、覚醒剤使用の罪で服役していた東京・府中刑務所内で開かれていた俳句教室。慰問で訪れたボランティアの俳人が指導に

あたっていました。センター長は「社会と隔離された生活の中で、俳句十七文字の中に世界を広げる楽しさに魅了され、自分自身とも向き合えた」と当時を振り返りました。出所が近づいた俳句教室で講師の先生にあいさつをした際、「句会はどこにでもあります。感謝の気持ちがあるのなら戻った地域の句会に入って俳句を続けては」と勧められたと言います。出所後、回復を目指して入寮していた鹿島ダルク(神栖市)の施設に近い中央公民館で神栖俳句会が開かれていることを知り、当時の細田みちお会長に入会の意向を申し出、「刑に服して出てきたばかりの人間ですが、会員になれますか？」と尋ねたところ、「文学を志す者に差別はありません。どなたでも歓迎します。一緒に学びましょう」と快く受け入れてくれたそうです。心に響いた会長の言葉は今でも忘れないと言います。

センター長は、潮騒JTC設立後も施設内で仲間たちを誘って俳句会を作り、神栖俳句会の桐本会長を招請して月1回の例会を開いてきました。過去を振り返りながら自分の心と向き合い、自然界と対話しつつ十七文字に凝縮していく俳句は、依存症の回復にも役に立つとして回復プログラムの一つに取り入れています。

45年以上も俳句にいそしんできたセンター長は体験に重ね合わせながら推敲(すいこう)し、1句を仕上げるのに1年以上も掛かる作品もあると言います。「十七文字の中に最大限の情景や感情を込めて表現する俳句の奥深さでもある」と語るセンター長は、「今後も仲間たちとともに励んでいきたい」と話しています。



芋掘りチャレンジ

潮騒農場でサツマイモの収穫体験イベント

大きなお芋が出てきたよ!—鹿嶋市平井にある潮騒農場でこのほど、地域交流の一環として以前から潮騒JTCと付き合いのある、地元の美空野(みその)保育園児ら数人を招いてサツマイモの収穫イベントがあり、農業隊メンバーのリードで園児や保護者の皆さんが手掘り体験を楽しみました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、止むのを見計らって園児数人や保護者らは軍手をつけて苦戦しながらも大物を掘り当てました。その後にはトラクターで一気に畑を掘り起こし、大量のサツマイモを収穫。農業隊メンバーがトラクターに子供たちを一人ひとり乗せる体験試乗もあり、大喜びでした。参加した皆さんには、お土産に掘ったばかりのサツマイモを持って帰ってもらいました。

秋の味覚サツマイモは潮騒JTCの農業隊が重点作物として位置付け、手塩に掛けて毎年たくさんの量を収穫。サツマイモの種類は紅はるかで、ねっとり甘いのが特徴です。今年は既に20kgのコンテナ約200個分を収穫しています。1ヶ月ほど寝かせると熟成して甘くなるので、隣接する神栖市内の倉庫で農業隊が

注意深く保管しています。

収穫したサツマイモはサイズごとに別け、潮騒食堂「おらげのかまど」の食材に提供したり、女性施設「るみの家」の作業所で焼き芋にしたりするほか、多くを健康・美容食としてとりわけ女性に人気の干し芋に加工、潮騒農業の主力農産品として商業化しています。潮騒干し芋は支援者や一般客らに「おいしい」と評判で、年を追う毎に購入支持が広がっています。

潮騒サツマイモの加工食品類は例年催される地元の秋季イベントなどで販売していますが、今年はコロナ禍によって軒並み中止に。そこで農業隊では今年収穫したサツマイモを青パパイヤ、落花生などとともにジェラートにしてみようと企画、専門業者の協力を得て試作に取り組んでいます。加工品の新たな試みとしてジェラード化に成功すれば、美味しく保存も簡単とあって期待が高まります。

なお、平井の農業施設の敷地内には、広い鶏小屋が新たにつくられ、その隣のビニールハウスでは作業隊のメンバーが収穫した蕎麦の実の選定に励むなど、潮騒農業の発展ぶりがうかがえました。

鹿嶋琉球太鼓 活動報告

市民センターまつり 久々の演舞に鹿嶋市民が拍手喝采

2020.11.08



杏那さん(写真中央)



ギターを手にするジーバさん



女性施設「るみの家」代表のルミさん

市民の活動拠点となっている鹿嶋市宮中のまちづくり市民センターで、日頃の活動の成果を発表する「まちづくり市民センターまつり」があり、潮騒JTCのエイサー隊「鹿嶋琉球太鼓」が大勢の市民の前で沖縄伝統芸能の演舞を披露しました。

同隊の活動も新型コロナウイルスの影響によるイベント中止や感染予防のために練習も中断。練習を再開した6月からは演舞に磨きをかけ、曲目を増やすなどの努力を重ねてきました。公開の場で演舞をするのは同市須賀の豊郷公民館で行われた子育て支援団体(NPO法人わくわくネット65外遊びの会)「どろんこきつず」の8月イベント以来。今回の公演には同隊のフルメンバー14人のほか、ヒトシ代表の長女で小学校4年生の加勢杏那(あんな)さんも加わり、メンバーたちは久々の演舞に張り切っていました。

成果発表が行われたのは同センター体育館の正面玄関前に作られた特設舞台。演目がスタートすると、曲に合わせて大太鼓や締め太鼓、パーランクの音が周囲に鳴り響き渡り、躍動感あふれる勇壮な演舞が披露されました。杏那さんは3曲目のミルクムナリで演舞。舞台中央でパーランクを元気いっぱい叩いて踊ると会場から大きな拍手が送られました。

最終演目のダイナミック琉球では、ジーバさんのギター演奏に合わせてチャングラー姿のブーさんとルンバさんが歌を披露して会場を盛り上げました。全演目が終了すると会場からアンコールの声。ヒトシ代表が沖縄県出身のレモンさんを舞台前に呼び出すとテンポの速い遊庭(あしびな)のアンコール曲が始まり、レモンさんが本場の沖縄伝統芸能の踊り・カチャーシーを披露しました。

「るみの家」めいの回復(途上)物語

こんな私でも
変われると信じて…

vol.6

以前と変わらぬまま問題行動の連続に



これまでの経緯～子供の頃から家庭内で不全感を抱いていた私は、成績や体型で姉に劣等感を持ち、思春期には両親、特に母親に激しく反抗した。20代で結婚するとダイエットから食べ吐きを繰り返すようになり、子供を産んでも摂食障害はおさまらず、男性依存にも陥った。30代には2度目の結婚をしたが、家庭内に自分の居場所が見つからず、孤独感と夫の借金、息子の荒れなどから鬱病を発症。飲酒と処方薬依存、窃盗を繰り返すクレプトマニアとなった。仕事や人間関係に行きづまり、夫と息子と逃げるように他県に移り住んだものの、ほどなく窃盗罪で逮捕された。執行猶予付きの判決の日、両親の尽力で「るみの家」につながったが、仲間づくりや回復プログラムに取り組めず、トラブルメーカーとなった。それでも施設側の温情で早期に息子との面会が許されたが…。

食べてはトイレに駆け込み、 全部吐く生活が続く

私は施設側の温かい配慮に思いをはせることなく、与えられた息子との面会では完全に浮かれてしまい、成長した息子が嫌がることをたくさんしてしまいました。やたらべたべた触ったり、無理矢理抱きしめたり、二人きりでもないのに強制的に写真を撮ったりしました。あたかも自分が息子を捨てたことを忘れたかのように…です。息子は相当恥ずかしい思いをしたことと思います。自分を捨てた私のことも恨んでいたかもしれません。

当然の結果ですが、それから2年半は、施設側から面会の話はありませんでした。自分の都合で接してしまい、相手の気持ちや周りのことを考えないで、自分勝手に振舞っていたのですから、私は何も変わっていませんでし

た。それで何度も失敗しているはずなのに、まだまだ(自分の無力を)認めていませんでした。

回復施設であるはずの「るみの家」でも、私は全く以前と変わらない生き方のままで、食べてはトイレに駆け込み、全部吐くという生活が続いていました。「私は摂食障害なのだから仕方ないでしょ!」とばかりに周りを見無視していましたし、誰かが困っていても見て見ぬふりをしていました。施設長のルミさんに仲間の誰かが怒られていると心の中では「ざまあみろ」、誰かが褒(ほ)められていると心の中で「ちっ」でした。

自殺企図扱いで 警察に捜索願が出された

「るみの家」につながって1年の間に、私は何度もスリップしました。1度目の13ステップ(注:男女関係への逃避)の後、それが認められなくて脱走し、お酒を飲んで帰宅。ルミさんが仁王立ちで待っていて、酒を飲んだことを問い詰められても認めなかった私。完全に酒臭いの…。その数ヶ月後にまた脱走。ルミさんに怒られて、「やっつけられるか!」という感情だけでした。

玄関から出て行くとインターホンでルミさんに分かっってしまうので、頭を使って扉を乗り越えました。その頃はまだガリガリだったので身軽でした。しかも「死んでやる」くらいの置き手紙を残して。そのせいで自殺企図扱いになり、警察に捜索願が出されていたそうです。迷惑な話です。1泊公園で過ごしてみたものの、やっぱり行くところも無く、もちろん死ぬ気も無かった私。

結局は暗記していたルミさんの携帯に電話して、迎えに来てもらい帰りました。それにしてもまあ、怒られる、怒られる。それでも懲りない私は、そこから立て続けにスリップしました。(次号につづく)

受刑者 からの手紙

「受刑者の手紙」は本来は公開されることを前提としていない私信ですが、当事者の本音が書かれており、依存症回復の第1歩である「自分に正直になること」を示す手本です。プライバシーに配慮し、掲載させていただいています。

返信の手紙を読み、仲間の存在が大事なことを知る

いつも励ましのお便りをありがとうございます御座います。刑務所にいると本当に心強く、社会復帰に向けて力になります。今、自分はどうしたら再犯をしないかじっくり考えて、毎日生活しています。返信の手紙を読み、仲間の存在が大事なことを知りました。今までは皆、酒を飲む仲間ばかりでした。そこも変えなければいけないと思います。

社会に出たら前と違う生活をしなければ、また再犯を繰り返します。考えたり、口で言うのは簡単ですが、なかなか実現するのは難しいと思います。シゲさんの力を借りることもあると思いますが、その時はよろしくお願いします。寒くなってきました。身体に気を付けて皆様と断酒生活を頑張ってください。

(北海道 Nさん)

社会復帰しても二度と同じ過ちを繰り返さない

栗原様はじめ皆様お変わりないですか。私の方は満期までもう少しとなり、変わりなく受刑生活に精励しておりますが、栗原様の施設で引き受けをいただきまして本当に良かったです。受刑生活では日々猛省しており、今後は二度と失敗を繰り返しません。強い決意しております。

私は58歳になりますが、刑務所生活は懲り懲りです。人間は何歳からでもやり直しはできます。栗原様が大学を受験なされ、今もなお勉強しておられることに尊敬の念を抱いております。過去はどうあれ、立派に潮騒ジョブトレーニングセンターともども関連事業をなされているわけですから、なかなかできることではありません。

依存症の方は刑務所、病院にたくさんおられます。一人でも多く、回復なされることを願うばかりです。私も親兄弟がいたのですが、亡くなった方をはじめ、行方の分からない身内が多いです。しかしながら、私には残された物があり、それを活用しつつ生活をしていきたいと思っております。ご面倒でも潮騒に入寮するにあたり、何が必要になってくるのか等、お教えてください。

仮釈には手紙のやり取り、面会が大事になってきますので、お手紙のご返信と面会をお願いしておきます。意思の疎通が大事になってきますので。先日、分類の方からプログラムを受けられるかどうかの質問を受けましたので、「大丈夫です」と答えました。少しお休みをいただきますが、遺品整理に行かないといけませんので、潮騒に少しでも役立ててもらいたいで時間を要します。

もしお世話になることになりましたら、社会のルールを守り、生活していきます。潮騒は回復施設ですから。私は薬物もやらないし、ギャンブルもやりません。アルコールも依存と言われるほどの依存ではありません。手紙ではあまり伝わらないことが多々あります。就労し、働きたいので、勉強も大事です。当所においては無事故を継続しており、継続は力になります。社会復帰しても、二度と同じ過ちを繰り返すことなく生活していきます。

(茨城県 Mさん)

しおさい俳壇

11月のお題 **運動会**

選者 桐本石見

特選句

純白の
靴体操着
運動会

一郎

今年一年生で初めての運動会かも。初々しさと共に元気な子供を彷彿して清々しく晴天の運動会の声が聞こえる句です。

特選句

運動会
玉を投げつつ
童心に

ひろ

運動会の定番は、走競争、綱引き、玉入れ、ダンスなどで夫々に懐かしい思い出がある。父兄の玉入れか、童心に還る一時の句。

特選句

運動会
すでに駆けっこ
夢の中

ゆたか

子供の頃は運動会が近づくと胸がときめく。中でも駆けっこだけは一番になりたいと夢にも思う。この日が懐かしく実感の句です。

秀逸句

今月の秀逸句

老らくの
矜持またたけ運動会

あべ

矜持(きょうじ)は自負、自身のこと。潮騒の運動会の景か。老いらくの齢にも競技に何か瞬いて貰いたい願いの句。

運動会
むかしダンスの子を思ふ

おの

中学生にもなるとほのかに恋心も芽生える。好きな子とのダンスは胸もときめく。誰もが経験する懐かしい想い出の句。

運動会
昨日の友も今日は敵

いさ

運動会の組み合わせも人生に似て面白い。いつもは友でも地区対抗などでは敵になる。しかし地区の選手になると勝ちたい。面白い句。

席確保
一足先の運動会

えび

殊に幼稚園や小学校の運動会は家族の観覧が多く、孫の走るのを目の前で見たいので席取りが前日からある。実感の俳諧の句。

秋空に
響くピストルよーいドン

レモン

運動会の日が待望の晴天だと盛り上げる。スタートは誰も緊張する。それも実感の句。

齢とて
玉入れ憂う朝餉かな

みっちゃん

老年になると運動会に出るのもおつくうになる。走りは無理なので玉入れの選手、それも気が進まぬ。子供の日の得て不得手を想う俳諧の句。

君だけは
すぐにわかるよ運動会

しま

運動会は同じ体操着なので誰だか解りづらいが、好きな子はすぐに見つけられる。これも初恋の思い出かも。私にも懐かしい句。

運動会
こころのエール子に届け

みく

何かの事情で子と離れて暮らす人の詠で、秋になり運動会の季節、我が子も負けずに元気に走って欲しいと願う切々の句。

佳作

運動会晴れたる空に笑みこぼれ	くま	歓声が校舎に響く運動会	れいこ
お婆ちゃんタオルを持ちて運動会	あっちゃん	運動会走った後のお弁当	ブッチ
音花火胸の高なる運動会	一郎	走るのだ運動会で一等だ	ナン
運動会頑張る吾子にわれ涙	めい	運動会皆で走れば楽しいな	ニモ
鼓笛隊スマホの中の運動会	ひーちゃん	運動会大空のもと走るよ	ゆーみん
楽しみも雨での中止運動会	モト	気合入れまじな闘い運動会	ちあき
彼女とのパン食い競争懐かしき	アオ	運動会子等を見るより女教師を	キム
この次の運動会も待ち遠し	ワカ	一年の育ち逞し運動会	ゆうこ
秋晴や走る子等への応援歌	いるか	運動会おにぎり持ちて応援だ	あきら
玉投げのいちにのジャンプ運動会	ミニー	運動会家族総出の応援だ	チャオ
秋の日や髪が吹かれて子ら走る	あべ	運動会若き競いも懐かしき	イチ
思い出の親子リレーや運動会	まこ	頑張るぞけふのマラソン運動会	五十男
盛り上がる対抗リレー運動会	おの	暖房は先ず吾の部屋に齢かな	ゆたか
ハツラツと運動会に汗流す	のん		

俳句へのいざない

第十回 故郷

人は誰にも生まれ故郷があります。それが東京や大阪の様な都会でも、また山国や瀬戸の島でも。しかしながら、故郷の思い出が全て良いとは限りませんが、齢を重ねるとそれらを含めて懐かしいものです。

私も定年後は縁者の慶弔や同窓会で何度も帰郷しましたが、その度に知人友人の消息を知るにつけ、人の生き方の悲喜交々を思います。例えば、社長、議員、先生に成った人、恋のもつれや病での若死にの方、また縁者も代替わりして顔も忘れそうな人。殊に祖父母、父母の亡き故郷は遠い昔の様に思えます。

私に、「妻ありて山河いきいき花辛夷」の句があります。新婚の頃、妻や私の郷を尋ねて、平凡な山も川も美しく見えたのも懐かしいです。皆様の故郷や思い出は如何なものでしょうか。

僧、月照に、「男児志を立て郷関を出づ… (中略) 青山至処にあり」の詩がありますが、時には故郷を尋ね、我が来しかた行方を思うのも俳句の一助です。昨今は地震や台風、今はコロナ禍で予期せぬ病や死もあります。故に生ある今に自分ながらの生き甲斐を見付けるのも大事と思うこの頃です。

11月のバースデー

イソオ



仲良く、
元気に、
頑張りましょう

タカノリ



仲間と共に頑張り、
クリーンを続けます

シロ



寮の仲間!
いつまでも、仲良く!

ノッコ



いつの間にか52歳!
歳はとりたくない

ヒデ



昔からのとても
優しい仲間です。

ベンツ



みんなでがんばろう

ジーバ



ヘモグロビン!!

ヌマ



農業プログラムに出て
最近調子良さそう
(*^o^*)

マキ



いつまでも健やかに!!

マヤ



愛される
キャラクターです。

ナン



仲良く元気に
過ごしましょう

ミツオ



コロナが流行っているので、
皆さんも身体に気を付けて
頑張って下さい!

事務局からの お知らせ

本誌を定期的に購読することをご希望の方はぜひ「定期購読会員」のご登録をお願いいたします。私たちは、生きづらさを感じている方やそのご家族・支援者の方々、そして地域の方々、当法人の取り組みや「依存」との向き合い方を伝えたいという思いで潮騒通信『どっこい生きてます』を発行しています。1人でも多くの方の手に届くことを願っております。

問い合わせ先

購読会員登録係 **0299-77-9099**

購読会員を
募集
しています



11月の行事

- 11月4日 水戸保護観察所スマーブ
- 11月8日 まちづくり市民センター祭り
(エイサー演舞)
- 11月12日 潮騒俳句会
- 11月28日 条件反射制御法勉強会
- 11月28・29日 千葉ダルク応援エイサー

12月の行事予定

- 12月2日 水戸保護観察所スマーブ
- 12月10日 潮騒俳句会
- 12月18日 美空野保育園イベント(エイサー演舞)

感染予防対策を徹底して行います。状況に応じて中止や延期になる場合があります。

献金・献品を頂いた方 (11月15日現在)

- ・ 工藤 克明 様
- ・ 大木 陽一 様
- ・ 鹿嶋神の道運営委員会 様
- ・ 白砂 文雄 様
- ・ 岡部 成美 様
- ・ 野本 俊子 様
- ・ 大谷 美香 様
- ・ 菅原 仲江 様
- ・ 武藤 クニ子 様
- ・ 金子 眞作江 様
- ・ 大川税理士事務所 様
- ・ 桜井 富士子 様
- ・ 片平 春枝 様
- ・ 栗原 みどり 様
- ・ 石綿 茂子 様
- ・ 鹿行シバウラ 様
- ・ 築山 秀夫 様
- ・ 高田 武義 様
- ・ 柴田工作所 柴田宣政 様
- ・ 吉田 和美 様
- ・ 荒野台地区4班 様
- ・ 大友 靖彦 様
- ・ 長谷川 トキ子 様

今月も献金・献品をいただきました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
おかげさまで潮騒JTCは、回復のためのプログラムを実践することができておりますことを
ご報告いたします。今後ともご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

※その他匿名の皆様からも献品・献金をいただきました。ありがとうございました。

※発送作業簡略化のため、振込取扱票は全員の方に同封させていただいております。どうぞご理解のほどをお願いします。

潮騒通信 **どっこい生きてます!** 2020年11月号

Contents

- P ② 断業に苦しむ受刑者らを思い
手紙で人生の再出発を促す
- P ③ 合同句集「潮騒」を出版
人生を見つめ直して詠んだ十七文字
- P ④ 芋掘りチャレンジ
- P ⑤ 鹿嶋琉球太鼓 活動報告
- P ⑥ 「るみの家」めいの回復(途上)物語
- P ⑦ 受刑者からの手紙
- P ⑧ しおさい俳壇 11月のお題「運動会」
- P ⑩ 11月のバースデイ
- P ⑪ 行事予定 / 献金・献品 / 目次



■ 編集・発行： 特定非営利活動法人 潮騒 ジョブトレーニングセンター
理事長：栗原 豊

本 部：〒314-0006 茨城県鹿嶋市宮津台 210 番地 10
事務局：〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 4 丁目 4-5
潮騒アディクションビレッジ会館 4 階
TEL:0299-77-9099 FAX:0299-77-9091

E-メール siosai2010@yahoo.co.jp
ホームページ <http://shiosaidarc.com/>

